

会 議 録

| | | | |
|------------------------|--|---------|---|
| 会 議 名 | 平成28年度第4回小金井市文化財保護審議会（第6期） | | |
| 事 務 局 | 生涯学習課 文化財係 | | |
| 開 催 日 時 | 平成29年2月22日（水）午前10時から11時30分 | | |
| 開 催 場 所 | 市役所第二庁舎8階 801会議室 | | |
| 出 席 委 員 | 田中委員（会長） 孤島委員 伊藤委員 鈴木委員 椎名委員 | | |
| 欠 席 委 員 | 二宮委員 | | |
| 事 務 局 員 | 石原生涯学習課長 山崎文化財係長 高木主事（学芸員） | | |
| 傍 聴 の 可 否 | 可 | 傍 聴 者 数 | 無 |
| 傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由 | | | |
| | <p>1 文化財保護審議会委員の追加委嘱について</p> <p>2 報告事項</p> <p>(1) 文化財センター事業について</p> <p>(2) 第29回多摩郷土誌フェアについて</p> <p>(3) 文化財説明板の設置について</p> <p>(4) 第42回東京都遺跡調査・研究発表会について</p> <p>(5) 本町六丁目における発掘調査について</p> <p>3 議 題</p> <p>(1) 玉川上水・小金井桜整備活用計画について</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 都水道局設置予定の説明板について</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 平成28年度ヤマザクラの補植について</p> <p style="padding-left: 20px;">ウ 整備事業に係る市民アンケートについて</p> <p>4 次回日程</p> <p style="padding-left: 20px;">平成29年5月10日（水）午前10時～</p> <p style="padding-left: 20px;">市役所第二庁舎8階801会議室</p> <p>5 配付資料</p> <p>(1) 文化財センター事業他（資料1）</p> <p>(2) 説明板設置（写真）（資料2）</p> <p>(3) 埋蔵文化財（遺跡）の発掘調査（資料3）</p> <p>(4) 国指定史跡 玉川上水説明（案）（資料4）</p> <p>(5) 名勝小金井（サクラ）復活事業概要、アンケート（資料5）</p> <p>(6) 都遺跡調査・研究発表会、文化財センター企画展チラシ</p> | | |

会 議 結 果

1 文化財保護審議会委員の追加委嘱について

田中委員 皆さん、おはようございます。それでは、平成28年度第4回文化財保護審議会を始めたいと思います。今回から、新しく椎名委員に加わっていただきました。2年で1期になりますので、来年もお願いすることになりますので、よろしく願いいたします。植物学では、以前は福嶋委員がいらしたのですが、退職され、不在の分野でしたので、小金井桜の件もでございますし、よろしく願いいたします。一言お願いします。

椎名委員 椎名でございます。私は文化財のことは全く分かりません。樹木医という職業をしております。文化財とはあまり縁が無いのですが、お役に立てればと思います。よろしく願いいたします。

田中委員 樹木も大事な文化財でございます。天然記念物が枯れてしまって、指定の取り消しをした樹木があった経過もでございます。大事なお仕事でございます。よろしく願いいたします。

こちらの紹介もいたしますか、それとも、29年度の最初のときにも行いますか。私の次に二宮委員が長く委員をしていらして、副委員長ですね。次に孤島委員、伊藤委員、鈴木委員ですが、各委員の専門は、追ってお分かりいただけるかと思えます。よろしく願いいたします。

それでは、事務局の方から報告事項について、お願いいたします。

2 報 告

(1) 文化財センター事業について

(2) 第29回多摩郷土誌フェアについて

山崎文化財係長 資料1、前会議以降に実施いたしました文化財事業について、ご報告させていただきます。まず、文化財センターで行いました企画展についてですが、「小金井のまつりと民俗」をテーマに行いました。開催期間は、11月1日から12月25日まででした。11月の市内視察の際に文化財センターにお立ち寄りいただいた際に、委員の方々にもご覧いただいたものです。小金井市の無形民俗文化財である小金井囃子の団体が日頃使用している面や獅子頭等及び打ち上げ花火の作成経過の記録や、実物の展示等、この展示会のチラシは教育長のお勧めもあり、市内の各小中学校を通じて児童、生徒のご家庭にも配布させていただきました。

結果、期間中の来館者数は787人、1日平均の来館者数は16.4人となりました。

次に、東京文化財ウィークの期間にあわせて例年実施しております文化財講演会、今回は「修復された仏像－仏像の材料と技法、その実例を交えて－」というテーマで11月12日（土）に行いました。会場を通常の文化財センターではなく、修復された小金井市指定有形文化財「閻魔堂木造閻魔王座像」の安置場所である貫井共同墓地に近い貫井南センターで実施いたしました。

実際に仏像の修復を依頼した仏像修復師、東京芸術大学出身の岩崎靖彦氏を講師にお招きし、修復した仏像にまつわるお話を分りやすく話し

ていただき、受講者の方は、日常的には馴染みのない職業の方ならではの貴重な経験に基づく講演に、熱心に聞き入っていらっしやいました。

次の『史跡めぐり』ですが、これについては、応募者数が21人ございましたが、天候不順により、中止となりました。

次に『第29回多摩郷土誌フェア、これは、例年、この時期に行っている行事ですが、平成29年1月21日（土）、22日（日）の2日間、立川駅北口、立川市女性総合センターアイム1階健康サロンを立川市のご好意で会場としてお借りし、稲城市を除く25市2町（日の出町、瑞穂町）の各自治体がブースを設け、郷土史等の販売を行いました。入場者数は2日間合計で463人、小金井市の売上は、33冊でした。内訳は、小金井の歴史散歩21冊、名勝小金井桜絵巻4冊、市史編纂資料6冊、CD版「写真でたどる昭和の小金井」2枚でした。

私からは以上です。

田中委員 郷土史フェアは、立川で実施しているのですね。在任中1回くらい行ってみたいとは思っておりますけれども。

それでは、文化財の説明板について、お願いいたします。

(3) 文化財説明板の設置について

高木主事(学芸員) それでは、資料2をご覧ください。今年度作成した文化財の説明板です。平成27年度に文化財に指定されました『宝永五年六十六部廻国供養塔』の説明板を11月11日に設置しました。説明板の文案については、文化財保護審議会委員の皆様のご意見をもとに作成しております。設置場所は、中町4丁目の市所有のはげの森緑地2という名称の緑地として、週に決められた日（日、月、木、土曜日、午前10時～午後4時）に開放され、市民の方に限らずどなたでも公開される形となっております。

田中委員 それでは、遺跡調査・研究発表会について

(4) 第42回東京都遺跡調査・研究発表会について

高木主事(学芸員) 先日の2月19日（日）に、小金井市教育委員会と東京都教育委員会共同の主催で、駅前の宮地楽器ホールで、『第42回東京都遺跡調査・研究発表会』が行われました。参加者数は約430名でした。

発表資料の配布数によって参加者数を把握しております。毎年行われておりますが、このように大勢の参加者となったのは珍しいとのこと、大変好評を博しました。

この発表会の性格を説明いたしますと、今年は、平成28年に行われました都内各所で行われた遺跡発掘調査や、近年の調査研究成果等から8遺跡が選ばれて発表する会となっております。毎年恒例のイベントです。今年は、会場を小金井市が提供いたしましたので、地元小金井市の報告では、私が発表いたしました。今、現在すすめております市史編さん事業の過程で整理されてきました中世の遺跡について紹介いたしました。このイベントを機会に、市民の方に市内の遺跡について知って

いただきましたので、今後は更なる活用方法も考えてまいりたいと思っております。

田中委員 私は、考古学というと、縄文、弥生の印象が強く、中世の発掘は珍しいのではないのでしょうか。街がこれから再開発されるところも多いので、これから研究がされるのかもしれませんがね。期待しています。

高木主事(学芸員) ありがとうございます。

鈴木委員 後学のために、教えていただきたいのですが。遺跡調査発表会の発表者の方の所属を見ると、民間の会社等がいらっしゃるが、自治体によっては、専門の業者さんに発掘を依頼しているところもあるのですか。

高木主事(学芸員) はい。そうです。ご覧のとおり、発表者の多くは、発掘会社に所属している方になります。各自治体においてはですね、発掘会社と事業者が直接契約をされて発掘調査が行われているケースが非常に多いです。

自治体は、指導的な立場で携わっております。自治体が主導的な立場となって発掘調査を行うケースもございます。ただ、東京都埋蔵文化財センター、こちらは、公益財団法人でして、東京都と非常に密接に関わる団体ですので、ある意味公共的な開発の場合には、埋蔵文化財センターが関わっておりますので、今回の報告では3件の報告がされています。今後も開発又は大きなマンション建設に関しては、自治体は指導的な立場を持ちつつ、発掘業者のご協力をいただいて調査が進んでいくものと思われま。

石原生涯学習課長 私が生涯学習課に異動して3年ですが、毎年違う自治体が会場を提供して実施していたと記憶していますが、去年は。

山崎文化財係長 目黒区で、来年は大田区で開催の予定です。

石原生涯学習課長 今回に限らず、例年民間業者の発表が多い傾向にあるようですね。

高木主事(学芸員) 最近は増えています。

田中委員 区や市の職員も一応少しは関与するのですよね。作業はほとんどしないということですね。

高木主事(学芸員) もちろん、市役所と協力体制を構築した上で調査を行うことは決まっております。勝手に掘ることはできません。

椎名委員 包蔵地の場合、民間の土地で、建て主が住宅を建てられる時でも、市役所が関与しているのですか。

高木主事(学芸員) はい。

椎名委員 なるほどね。そうじゃないとおかしいですよ。

高木主事(学芸員) 補足しますと、数十年前までの役所の調査体制といたしまして、役所のもとに、遺跡調査会という任意団体が必ず組織されておりましたので調査ができる人を確保して、役所が自前で調査が行えた時期がありました。現在はそういった調査会も解体されまして、役所の職員だけでは掘ることができませんので、発掘会社にもお願いしながら遺跡調査を進めています。

田中委員 高木さんの前任の学芸員の伊藤さんは、市役所に入所以来、発掘もされていたとおっしゃっていましたから、以前は、職員が発掘した時代もあったように聞いております。他の自治体、渋谷区、江戸川区にもいら

した方を存じていますが、その年代の職員がここで定年退職されていますから、今後は、職員が育つより、民間の専門業者が増えてきているわけですから、委託していく方向になるのでしょうか。

それでは、次の議題をお願いします。

(5) 本町六丁目における発掘調査について

高木主事(学芸員) 資料 3-1 をご覧ください。埋蔵文化財の発掘調査についてです。

まず、調査にいたった経緯をご説明いたします。

武蔵小金井駅南口第二地区では、現在、再開発事業がすすめられています。資料 3-1 の地図に太枠で示されている範囲が再開発区域でございます。大規模事業として、区域全体が地下駐車場を造るため、地中深くまで掘削されることから、遺跡が破壊される恐れがありました。

そのため、平成 28 年 11 月及び 12 月に、遺跡の有無を確認するため、事前の試掘調査を再開発組合負担で実施いたしました。試掘調査の結果、縄文時代の土坑や中世や近世と推定される溝の跡など、様々な痕跡が数多く発見されました。

この試掘調査の結果をもとに、再開発事業組合、担当部署のまちづくり推進課、生涯学習課で協議を重ねてまいりました。こちらの組合の負担によって、本格的な発掘調査を平成 29 年 4 月から開始する計画で調整を行っております。なお、試掘調査におきましては、遺跡の外での発見でしたので、今後は、この発掘を持って、遺跡の新指定の申請の手続きも行ってまいります。以上です。

田中委員 駅の近くの広範囲の住宅地での再開発事業では、住民の方達は他に移られるのですか。

石原生涯学習課長 もう住民の方は、全部移っています。

鈴木委員 タワー型のものが建つのですか。

石原生涯学習課長 はい。タワーです。

鈴木委員 国分寺の北口でも大きな開発事業を行っていますね。

この事業は、ちなみにいつ頃の終了を予定しているのでしょうか。

石原生涯学習課長 平成 32 年ですね。

田中委員 事業が始まると、審議会の際に、ここまで進んだといった進捗状況の報告をいただくようになるのでしょうか。

石原生涯学習課長 もう今年の春から、今建っている家やアパートなどの解体工事が始まっていく予定です。

高木主事(学芸員) 4 月から発掘調査が始まりますので、次回の審議会の日程にもよりますが、タイミングがあえば、審議会でお見えになる際にでも、皆さんにもご覧いただくこともできるかと思えます。

鈴木委員 このあたりでは、近世は何かあったのですか。街道沿いですよね。

高木主事(学芸員) はい。街道沿いで江戸時代として発達するのは、中期以降になるかと思えます。それまでは、はげ下、低地の部分、野川近辺には、集落、村は存在していたのですが、上がったところの集落の発達はかなり遅いですね。私も遺跡発表会では、小金井街道の話として、かなり古いという

コメントを残しているのですが、古い道としては通っていたと思います。

おそらく、江戸時代に限らず、更に古い時代のもの、文献では出てきていない遺跡が遺跡調査により、新たに発見される可能性があります。

試掘調査においては、江戸時代か中世かと思われる柱の跡が発見されています。掘立柱構造です。その全体もつかめるとよいかと思っています。

椎名委員 江戸時代の中期という、新田開発ですかね。

高木主事(学芸員) 新田開発ですね。玉川上水がきっかけです。それまでは、台地上では、水の確保が難しいので、玉川上水がきっかけで台地上に進出が可能になったのです。それまでは台地への進出というのかなり困難だったかと思っています。

田中委員 期待の持てる話で、楽しみです。

それでは、もう一つの説明板の話ですね。

3 議題

(1) 玉川上水・小金井桜整備活用計画について

ア 都水道局設置予定の説明板について

高木主事(学芸員) こちらの説明板につきましては、東京都の「玉川上水整備活用計画」ですが、文化財の普及、啓発のためにその計画の中にも設置がうたわれて」いるもので、この説明板は、平右衛門橋のもとに設置される計画です。設置の主体者は、東京都水道局ですが、名勝小金井桜につきましては、小金井市からも提案をしております。説明板の左側の説明については既に設置されている説明板にも使われている定型文ですので、これについては、修正できないのですが、小金井桜の説明部分について、審議会の委員の皆様のご意見を伺いたいと思います。

まず、全体の文案を読み上げます。

「国指定史跡 玉川上水

＜江戸・東京の水道に果たした役割＞

玉川上水は、羽村取水口から四谷大木戸までの約4.3kmにわたる水路で、承応3（1654）年に完成しました。これにより、多摩川の水が江戸市中の広い範囲に供給されることとなり、江戸が大きく発展することができました。

その後、明治31（1898）年に完成した淀橋浄水場（今の新宿区）への水路として昭和40（1965）年に同浄水場が廃止されるまで、利用されてきました。

現在も羽村取水口から小平監視所までは、現役の水道用の水路として、都民の生活を支えています。

＜貴重な土木施設・以降としての歴史的価値＞

玉川上水は、約4.3kmの区間を約9.2mの標高差（100mでわずかに約2.1cmの高低差）を利用して、水を流すように設計された長大な土木施設・遺構です。

特に、小平監視所から浅間橋までの中流部には、開削当時の素掘りの水路・法面（のりめん）が多く残され、往時の姿を今日に伝えています。

玉川上水は、近世の水利技術を知るうえで重要な土木施設・遺構であることから、平成15（2003）年8月、開渠（かいきょ）区間約30kmが国の史跡に指定されました。

<国指定名勝 小金井（サクラ）>

玉川上水堤のヤマザクラ並木は、元文2（1737）年、玉川上水堤のヤマザクラ並木は、元文2（1737）年、江戸八代将軍徳川吉宗の時代から植えられはじめ、江戸・東京近郊随一の桜の名所として賑わい、大正13年（1924）年に国の名勝に指定されました。

小金井市では、平成27（2015）年、横断歩道橋を改修し、史跡・名勝景観にふさわしい人道橋に架け替えました。橋名は、江戸時代に武蔵野新田の開発と復興に尽力し、ヤマザクラ並木を造った地域の先覚者川崎平右衛門にちなみ「平右衛門橋」と名付けられました。」

以上が文案になります。白黒印刷でわかりにくいですが、実物は、全てカラーのものとなります。「明治時代末頃の小金井」の写真ですが、こちらカラーの写真となります。この説明をいたしますと、この写真に写っている桜は、昔あった、富士見桜という大きな桜の一部ですが、現在の平右衛門橋の近くに植わっておりました。現在は枯れて、残ってはおりませんが、その関係で、この写真を採用しております。

事前に二宮先生にお見せして伺ったところによると、上の「国指定史跡玉川上水」にルビがふってあるので、下の小金井（サクラ）にもルビをふってはどうか」というご意見をいただいています。

改めて、皆さんにご意見を伺いたいと思います。

鈴木委員 江戸八代将軍吉宗という部分の、江戸が必要な理由がよく分からないのですが。歴史は全く素人ですが、近世史の方では、必要なのか伺いたかったのですが。

孤島委員 徳川八代将軍吉宗という呼び名は、よくありますよね。

鈴木委員 その方が馴染みがありますね。それがいいかもしれない。

孤島委員 川崎平右衛門には下の名前を入れた方がよろしいのではないですか。何人かいますから。

田中委員 こちらの平右衛門は、さだたかでしたか。

鈴木委員 さだたかとは、どのような字ですか。

石原生涯学習課長 定めるに親孝行の孝、たかしですね。

田中委員 地図はこの地図なのですね。裏の地図は説明ですよ。番号は何なのですか。

石原生涯学習課長 説明用番号で、現地にはふって無いですね。

高木主事(学芸員) 番号は既に設置済みの設置順番で、このような形で、他の自治体には設置され、小金井市は平右衛門橋の設置を待って造られるので、小金井がまだこれから設置の予定です。

田中委員 小金井（サクラ）は小金井市だけなのですか。
高木主事(学芸員) 名勝区間は、小平市から始まります。

田中委員 名勝区間は小金井だけでなく、小平も入るのですか。
でも、小平は、まだ雑木の伐採はしていませんよね。どうするのでしょうか。

孤島委員 小金井（サクラ）という名前は、どうしてこのような名前なのですか。
高木主事(学芸員) 文化庁が登録している文化財名称が、国指定名勝小金井（サクラ）です。国指定名勝と言う場合は小金井（サクラ）にするのが正式です。通称で小金井桜と漢字名でいわれていますが。植物の天然記念物に〇〇〇（ツツジ）などかっこ書きのものを見受けますね。

鈴木委員 ヤマザクラも片仮名が正式なのですね。
石原生涯学習課長 植物、動物名は片仮名で表記する場合がありますね。

田中委員 ヤマザクラは、サクラの品種の名前が本当は別にあるのですよね。
椎名委員 いや、ヤマザクラは種です。ソメイヨシノとかフゲンゾウとかなら品種です。
ヤマザクラとオオシマザクラは種ですから、いいのです。

田中委員 そうですか。
鈴木委員 この桜の絵葉書に、何年頃の景色かの説明があるといいと思うのですが。

高木主事(学芸員) 明治時代末頃の小金井と書かれている絵葉書を使っているのですから、これで、時代を想定していただければと思います。

鈴木委員 この説明が、絵葉書のキャプションなのですね。でしたらいいですか。
高木主事(学芸員) これでは不十分でしたら、当時の平右衛門橋の風景などともいれられますが。

椎名委員 平右衛門橋の近くであることは分かっているのですか。
高木主事(学芸員) はい。

椎名委員 だとしたら、入れた方が良いでしょうね。

孤島委員 富士見桜という名前は入れられないのですか。かなり有名な桜です。
高木主事(学芸員) 少し余白があるようでしたら、入れられるとは思いますが。

椎名委員 そうなると、富士見桜は復元できますかという話が出てくるかもしれない。

鈴木委員 それはそれで、面白い話で。できないかもしれませんが。

田中委員 小金井橋といっても、この橋は小金井市ではないのですか。
高木主事(学芸員) 四分の三は、小金井市です。

田中委員 小平市の方で案内板造っているのではないのですか。
高木主事(学芸員) 小金井橋拡幅の工事の際に、小金井市、小平市の連名で造っています。

田中委員 この掲示板には、市の境界線は引かないのですか。
石原生涯学習課長 複雑な境界線が入ってしまいますね。

椎名委員 かなりごちゃごちゃしてしまいますね。きっと。複雑ですから。
高木主事(学芸員) 説明板の平右衛門定孝にはふりがなをふった方がよろしいでしょうか。

石原生涯学習課長 橋の方には、ひらがなも書いてありますけどね。

孤島委員 若い世代の方も見ますから、あった方が良くもありませんね。

田中委員 昨年造った宝永五年の説明板は、どうでしたでしょう。ふりがながついてましたね。

孤島委員 平右衛門橋の近くの富士見桜の跡あたりに、ヤマザクラのNo.119(小金井桜の中でも名木だそうです。)を、3月頃ですか、没後250年記念に植えて、市長も招いてイベントを行う予定だと聞いているのですが、その説明も加えなくていいのでしょうか。いずれ別に説明板をつけるのかもしれませんが。

高木主事(学芸員) 説明板の設置予定ですが、平成29年度の上半期の予定です。

椎名委員 植物の場合は、植えて合着するかどうか分からないので、もちろんそうするつもりで植えるのですが、少し落ち着いてからの方がよろしいのではないですか。

田中委員 この説明板は、市で作っているものなのですか。

高木主事(学芸員) これについては、東京都水道局の設置物であり、文案のみ市で検討するようにいわれているものです。

椎名委員 市のものでしたら、今の復活事業についても、いつか説明板を作ってもよいのかもしれませんがね。何年から何年までの間にこのような努力をしたという記録として。おっしゃるとおりかもしれません。過去に、50年おきくらいに、衰退期や隆盛期が起こるので。50年単位くらいで今までにもやってきていますから。

鈴木委員 平右衛門橋の案内というのは、市としては説明板を作ったのですか。

高木主事(学芸員) 市では作っておりません。

鈴木委員 この説明板だけなのですね。だとしたら、平右衛門橋の説明が主たるものですから、よろしいのではないのでしょうか。

椎名委員 今もたても園でやっていますよね、平右衛門についての展示会を。今とても見直されていますよね。

田中委員 埼玉県でもやっていますね。

椎名委員 埼玉県の方はきちんと検証された碑も陣屋跡のところにもありましたね。長良川と木曾川の中洲にも川崎神社がありましたね。

鈴木委員 そんなに広範囲で活躍された方なのですか。

椎名委員 あと、石見銀山の奉行としても活躍されていますよね。多摩の偉人ですよ。

鈴木委員 そうですか。あともう一つ、この前の説明板には建てた年月日が入っていましたが、これは、年月日を入れておかなくてよろしいのでしょうか。というのは、名勝指定の範囲が現時点の範囲なので、今後他市にも広がった場合、困りませんか。

高木主事(学芸員) 歴史的な背景を申しますと、桜並木があった場所は、西は小平監視所、東は武蔵野市の境橋、それが江戸時代からの桜並木です。

鈴木委員 先ほどおっしゃっていた、小平市が今後名勝指定された場合のことなのですが。小平も名勝区間にすでになっているのですか。

高木主事(学芸員) 小平市、小金井市、武蔵野市、西東京市の4市が指定されています。

鈴木委員 資料が白黒だから、名勝区間部分が見えていないのですか。

石原生涯学習課長 白黒の資料なので、分かりづらいのですが。

鈴木委員 名勝については、これ以上西側に名勝区間が延びることは無いのですか。

石原生涯学習課長 はい。

鈴木委員 だとしたら結構です。史跡範囲と史跡指定年月日は入れないのですか。

石原生涯学習課長 QRコードを入れてはどうでしょう。

椎名委員 今の時代、それがあってもいいですね。

高木主事(学芸員) 史跡指定年月日等とQRコードについては、確認いたします。いかがでしょうか。もう一度見直します。

田中委員 我々は、もう一定議論しましたから、結果の報告でもかまいません。

鈴木委員 どうしても確認が必要でしたら、メールでも結構です。

高木主事(学芸員) 改めて確認させていただいてよろしいでしょうか。

- 1、江戸八代将軍の江戸をとり、徳川に言い換える
- 2、平右衛門の後ろに定孝を入れる
- 3、植えられはじめ、で改行する体裁になれば、読みやすい。
- 3、写真説明に、現在の平右衛門橋付近及び富士見桜を明記
- 4、指定年月日及びQRコードの確認

でよろしいでしょうか。

田中委員 結構です。次の議題をお願いします。

イ 平成28年度ヤマザクラの補植について

玉川上水資料5-2の地図、関野橋から梶野橋区間において、ヤマザクラの補植の場所を確保するために、昨年11月から今年1月にかけて、東京都水道局に雑木の伐採を行っていただきました。

その上で、ヤマザクラの補植が10本予定されております。明日から玉川上水堤で植樹される予定となっております。

椎名委員 資料5-2の5「樹木伐採が必要な理由」ですが、水路法面・法肩に生育する樹木は、国の史跡である玉川上水を壊す可能性があり、史跡を保護するためにもそういった樹木の伐採は必要です。」の解釈なのですが、具体的に、法面がどういう場合壊さないですむと判断しますか。根を掘ったら素掘りのところを壊すのでだめなのですが、根元から切ったらそれでいい。これは、見方によっては、管理のやりすぎによって文化財を壊す、放置することによって文化財を壊す、とても難しい問題かと思うのですが。

田中委員 今の雑木を伐採したところも、緑を残して欲しいというご希望があったのですよね。何度も説明会をして伐採に至った経過があったのですよね。

石原生涯学習課長 今回切るときも、何度も何度も住民の方から、考え直せないか、考え直せないかというお申し出をいただきました。

椎名委員 後からの国の史跡としての指定が、ヤマザクラにとっては良かったのですね。はっきり申し上げて。あれが無ければ伐採できなかった。ヤマ

孤島委員 ザクラにとってはよい指定だったのですが、管理者にとってはね。東京都水道局ですよ。それは結局、小金井市に判断を聞いてきますよね。私が見させていただいたときは、トウネズミモチがはびこって、そこに洗掘が始まって、外来の駆除しなくてはいけない植物だから、ここは、このままにはいけないという有無をいわせない判断でした。

椎名委員 東京都の教育委員会にもよく相談してきちんと決めていく必要がありますね。なかなかナーバスな事業ですよ。アンケートとは異なる感情をもってらっしゃるから。

イギリスのイングラムという桜の研究家がいるのですが、小金井桜について日本に来たときの、明治時代の写真、文化財センターにあると思います。最近出た本ですが、素晴らしい写真ですね。そういうのを特に小平市の人にそれを理解していただかないと。小金井は、小金井（サクラ）が印籠のようなものですから。

田中委員 住民の中には、緑というと、緑信教の信者みたいな人達がいらっしやると聞いてますから。

ウ 整備事業に係る市民アンケート調査について

高木主事(学芸員) 説明を続けさせてください。名勝小金井桜復活事業については、平成22年度からすすめてまいりました、玉川上水・小金井桜整備事業です。今年度で7年目となりまして、計画開始時に植樹しましたヤマザクラは、順調に育っています。

また、今年度補植予定の10本の植樹により、この整備区間の事業は、終了となります。

今後の事業の参考とさせていただくため、アンケート調査を実施いたします。

今回は、事業内容について理解が深まるように、前後関係が分かるものにしたたり、写真を多用して資料をお配りしました。期間は3月1日から3月31日までの1か月となります。

椎名委員 アンケートについてですね、例えば、6番を4番に持ってきて、ヤマザクラと雑木を対立関係にはっきり決めておくことです。

雑木の生態系ができていることがやっかいなのです。

文化財的には、ヤマザクラの復活が目的ですから。絵葉書より、写真がいいですよ。富士見桜の絵葉書もいいですよ。

善はヤマザクラ、悪は雑木と明確にし、選択の余地を残さない。

過去の1700年代ですか、植栽が終わったのは。その後、先人が植えているんですよ。西東京から名主さんが何回も何回も植え続けているんですよ。

埋蔵文化財の場合は、そのままになっていきますから。樹木の場合は、人が作った名勝なのです。だから、繰り返し、繰り返し。今生きている人が、後の50年への責任を負うということです。衰退期と繁栄期がくるのです。道路整備、これは仕方がないですね。生活の利便のた

めに造っているのですから。それと駐留軍の軍用道路であったところ。もう少し旗手を鮮明にした方が良くと思います。

私は小平市に住んでいるのですが、小金井の姿勢を見ていると思うのですよね。小金井がそこまでやるなら、やらないと仕方がないとそのような気持ちにさせないと。

鈴木委員 名勝といっても指定名勝だから、小平市も参入すれば、小平（サクラ）とはならないのですか。

高木主事(学芸員) ならないです。

田中委員 登録商標みたいなものですね。

椎名委員 小金井というと、江戸市民は、ヤマザクラの続く風景をぱっと思い浮かべたのでしょうね。そういう時代があったのでしょうね。

石原生涯学習課長 昔の西武線の観光案内を見ると、玉川上水沿いの桜の花見の名勝は小金井市域だろうと小平市域だろうと武蔵野市域だろうとその花のあるところは、小金井と明記されていますね。

4 その他

(1) 川崎平右衛門について

高木主事(学芸員) 先ほど、孤島委員から触れていただきました、今年は、川崎平右衛門没後250年の節目の年であります。各地で関連事業が行われています。

小金井市文化財センターでは、桜のシーズンにあわせて、3月25日から『名勝小金井桜展』を開催いたします。小金井桜の歴史とともに桜並木や小金井にゆかりのある川崎平右衛門についても紹介いたします。

小金井桜復活プロジェクトの整備事業の経過報告も、写真パネルを使って展示しております。

また、現在、江戸東京たてもの園にて、特別展「川崎平右衛門」が開催されています。こちらでは、江戸東京たてもの園、と府中市、小金井市の1園2市との連携事業を行い、文化財センター所蔵の古文書を展示しております。

このほか、市民や市民団体による「川崎平右衛門没後250年記念事業」が予定されておまして、平右衛門が武蔵野新田開発に貢献した功績を改めて考える機運が高まっております。その一環で、桜の記念植樹も計画されているようです。先ほど孤島委員が触れた件になります。

田中委員 今回の文化財センターの展示は、桜の時期に合わせたのですね。ココバスは「CoCoバス」が固有名詞で、勝手に変えられないのではないですか。たいした問題ではないのですが、調べておいてください。それでは、他に何かございますか。

孤島委員 武蔵小金井駅北口に桜の木を植えたいと、小金井ロータリークラブから間接的に聞かれたのです。オカメザクラという小ぶりの、北口には太いヤマザクラを植えられないからと。そういう全然関係の無い品種の桜を植えてもよろしいのかと。

武蔵小金井駅といえば、桜の花見の臨時駐車場から始まったというこ

とを考えれば、最終的に教育委員会でチェックするという事は可能な
のですか。

高木主事(学芸員) 今、孤島委員から初めてその話は聞きましたので、調べる必要がある
と思います。小金井に密接に関わりがあるのは、小金井桜ですので、ロ
ータリークラブですか、そういった動きの中で、役所が関わっているの
であれば確認する必要があるかと思います。

椎名委員 南口は、結構よく植わっていますよね。駅のそばにはヤマザクラが植
わっていますね。市民交流センターの南側には、新種のヤマザクラが植
えられています。系統だって植わっていますね、南口は。北口はどうな
のでしょうか。

孤島委員 北口には、あまり植える場所が無いですね。

高木主事(学芸員) 植えるとしたら、平和像のたもと、ロータリーのどまん中ですね。

椎名委員 ロータリーの中にアイランドか何か作る予定ですか。

北口に植えたい桜は、何の種類ですか。

孤島委員 オカメザクラと聞きました。

椎名委員 オカメザクラは、品種ものですね。マメザクラとカンヒザクラの交雑
ですから。これは、イングラムというイギリス人が作った、品種改良し
た桜ですね。ヤマザクラとは関係ないですね。カンヒザクラは沖縄の
桜です

、マメザクラは、フジザクラともいって、山梨県、山梨県だけではない
のですが、山の方に多くあります。

カンザクラくらいなら、カンヒザクラとヤマザクラの交雑ですので、
関連性はあります。DNAで今では何でも分かっていますので。
なぜかといわれる根拠は問われますね。

高木主事(学芸員) 市の道路管轄若しくは、交通管轄の部署に確認してみます。

田中委員 でも植えたいと思う気持ちは分かります

孤島委員 ヤマザクラでは育たないという理由も本当なのか不明ですが。

椎名委員 ヤマザクラでも十分育つと思います。だめという理由は全く無いと思
います。道路管理者がどういう解釈だかよく分かりませんが。

南口は、ヤマザクラとシラカシ、アラカシも植わっていますね。

おそらく、屋敷森のシラカシ、そして、当然玉川上水のヤマザクラ、
そして、隔てたところにおかめも含め、それ以外にも何か咲いてました
ね。十月桜でした。十月桜は2度咲くので、今は咲き頃ですね。当を得
た植え方だなと思いました。南はうまくできていると思いました。

北口はどうなのでしょう。これから植えていくとしたら、最初にオカ
メというのはどうでしょうね。違和感がありますね。きっと。

資料5-1の名勝小金井(サクラ)復活事業についてのくだりで、とて
もいいことが書いてありますね。

「花見の名所として知られた名勝小金井(サクラ)の景観は、江戸時
代以来、国指定を経て昭和30年代までは、ヤマザクラ並木だけであり、
法面や並木の林床は、様々な野草が自生する多様性に富んだ草地でし
た。」

この「林床は、様々な野草が自生する多様性に富んだ草地でした。」
これが大切ですね。

田中委員 これならいいのですが。

椎名委員 今、雑木の生態系ができあがっていますけれども、その雑木の生態系だけでなく、桜並木の林床というのがもう一つあるのです。

生物多様性の点では、雑木の方が優れているという意見を主張してくると思います。桜並木はだめだと。

でも、桜並木でも、このようなことは可能です。例えばクサボケとか、芝生地では、ツリガネニンジンなどの草も出てきますので。

若干は劣るけれども、そういう点では、十分な生物多様性が確保されるということは、言えると思います。このへんの話をも主張していく。

「雑木を切ってはだめだ」と主張する人は、本当の話は分からないのですが、理論武装するとしたら、生物多様性のお話をしてくると思うのです。必ず。

ヤマザクラの林床でも一定の生物多様性は保てる、保持できるということが大事です。そういう点では、ここでこのように記載してあるのはすごく私は、良いと思います。

実際に下刈りする生態系ですとね、クサボケなどが十分出てきますし、いろいろな林床の植物が出てくるのですが、おそらく、雑木林を切ったときにいわれるのは、これから咲くニリンソウや、アズマイチゲ、キンポウゲ類が出てきたりしますので、それが根拠になりますので、それに対しては、こちらもこういうことを言って打破していくことが大事です。

田中委員 いいお話ですね。桜の名所と言われている観光地は、桜だけあって、周囲はコンクリートで固めているところも多いですよ。あれは、とても不自然ですね

椎名委員 本当は違いますよね。そこにも、もう一つの自然が生まれるのですね。ですから、そういう点ではあそこは、囲ってありますから、管理さえきちんとならば、なると思いますね。

この考え方は非常にいいと思います。これを推し進めていくしかないですね。

雑木林の生態系と対立するのと、素掘り、側溝を壊してしまうということで、この事業をすすめていくしかないのです。主張していくしかないと思うのです。

この主張をしていけば、小平市を説得する材料になります。

他の市は、当事者意識が無いので、市民から言われると、理論武装するものが無いから、すぐに退却してしまうのですね。でもやはりそうではなくて、という情報を小金井市が与えないと理論武装できない。

情報を与えないと他市はだめなのですよ。戦略的な話で申し訳ないですけど。

孤島委員 生物多様性といえ、伐採をしたときに、物凄い数のネズミ、イタチ、たぬき、アライグマ、テン、ハクビシンといった生物が、付近住宅に出

没しました。そういった話はなかなかデータとして出てこないようですが。そういう意味では、ものすごい数の生物を玉川上水で飼っていた状態だったということですよ。

平右衛門の供養塔の件ですが、供養塔には今は手をつけないのですが、周囲の小屋を補修したいのですが、これについては、市に届けなくてもよろしいですか。

高木主事(学芸員) 結構です。

孤島委員 供養塔の修理については、また、後日相談させていただきます。

高木主事(学芸員) はい。

山崎文化財係長 追加資料です。石原課長が前職、環境政策課長をしていた際に緑と公園の管理関連でつながりがあった東京都造園緑化業協会からの依頼で、『東京と緑』という広報誌の依頼を受けた原稿が掲載されております。小金井桜関連の復活事業についてまとめたものですが、これについては、別の委員会である、玉川上水・小金井サクラ整備活用推進委員会の委員でもある椎野委員にもご尽力いただいている事業でございます。ご参考までにお配りいたします。お持ち帰りになってゆっくりご覧ください。

また、平成29年度の審議会開催予定に日程については、今お配りしたもので、ご確認ください。

田中委員 平成29年度の開催は、水曜日の午前ということでよろしいですね。昨年8月、11月に行った市内の文化財の視察は良かったですね。まだ見たことも無い文化財がたくさんありますから。

高木主事(学芸員) 視察の機会は、今後も設定していきたいと思えます。

田中委員 ではよろしいですか。では次回は5月10日(水)午前10時からということで、よろしく願います。

それでは、閉会といたします。どうもありがとうございました。